

説明会等の名称	(仮称)本郷地区新小学校開校に伴う通学区域の検討に関する説明会
開催日時	平成 28 年 8 月 18 日(木) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 50 分
開催場所	本郷ふれあいセンター 1 階 多目的ホール
議題	(1) 学校再編計画の状況について (2) 通学区域(案)について (3) 質疑応答・意見交換
参加者	(受付簿記入人数) 計 99 名 住吉 1 名, 二区北 1 名, 二区南 6 名, 一区 11 名, 上本郷 1 名, 本郷一丁目 6 名, 本郷二丁目 54 名, 本郷三丁目 9 名, 下本郷 1 名, シンワ 1 名, 中根 1 名, 実穀小学区 1 名, 町議会議員 6 名
出席者	(町教育委員会) 教育長 菅谷道生, 教育次長 大野利明, 学校教育課長 朝日良一, 小倉課長補佐, 渡邊係長, 坂本係長, 植松主任, 飯田主事 (町) 町長公室 公室長 篠崎慎一, 政策秘書課長 佐藤哲朗, 総務部 財政課長 大塚芳夫, 町民生活部 町民活動推進課長 高須徹, 産業建設部 都市計画課長 林田克己, 道路公園課長 大塚康夫, 堀越課長補佐
質疑応答・意見交換の要旨	
Q	これだけ人数がいて, 30 分で意見を言うのは不可能だと思いますので, 今から紙を配ってアンケートを取るということはできませんか。
学教課長	おっしゃるとおり, 会場の都合で限られた時間になりますので, 全ての方にご意見をいただくのは難しいかと思いますが, 本日は, アンケート用紙をお配りする考えはありません。ご意見がございましたら, 学校教育課の担当がお聞きしますので, お手数ですが直接教育委員会にご連絡ください。
Q	学校再編で分離をした後はもちろんなんですが, 私たち保護者全員が, 9 月 1 日から気にしている通学路の安全確保について, とても危険なところを通して学校まで通学している子供たちがたくさんいます。町としてはどのような考えがありますか。
道公課補佐	道路整備担当からご説明します。通学路の安全対策につきましては, 学校再編がある, ないに関わらず毎年通学路の合同点検というものを実施しております。その点検や地域の方のご意見をいただきながら大小様々な安全対策を検討しているところです。今回は, その再編も含めた具体的な安全対策に関するご質問

Q	ということでよろしいでしょうか。
道公課補佐	はい。 まずひとつ、南大通り線のお芋屋さんがある辺りから、本郷小学校まで新しい道路を通します。今通学路になっている本郷テニスクラブの辺りが大変危険だということもありますので、こちらに 4m の歩道をつけた道路を通します。今年度に地権者の皆様に用地交渉のお願いをしまして、来年度に工事を行う計画です。 次に、さくら保育園、セブンイレブンの信号から、荒川沖寺子線まで、それから更にその先カスミストアの裏から南大通り線まで。こちらの区間が非常に通過交通が多くて、歩道もなく危険である、そういったお話を伺っております。 こちらの道路は、以前は幹線道路で、センターラインが入っている非常に重要な道路でしたけれど、今は新しく荒寺線とか南大通り線ができましたので、幹線道路の位置付けからは外せるというところがあります。今考えているのは、この道路のセンターラインを消して、片側に歩行者が通れる通路を確保しようといったことです。歩行者の通路と車道を分離するために、ポストコーンというオレンジ色と白のポールを立てながら安全対策を図ることを検討しています。 整備の予定ですが、さくら保育園から荒寺線までの区間は、出来れば今年度を実施したいと考えています。荒寺線から南大通りまでの区間は、まだ予算化されていない関係がありますが、出来るだけ早期に行いたいという考えでおります。 最後に、うずら出張所の前の通りですが、少し前に歩行者の通路としてグリーンのラインを引きました。そこから南側の押しボタン信号のところまで実施していますが、そこから更に本郷小学校に向かってくる道路についても、路肩の線を入れて、その中をグリーンの舗装にして、車の運転手に注意喚起をすることや、児童もその中を 1 列になって登下校するという事で安全対策を図ってまいります。 主だった事業は以上です。
Q	丁寧なご説明ありがとうございます。子供たちが安全に学校まで登下校するという責任が私たち保護者にあるということは十分に承知しておりますが、道路を管理する町としても、今のような対策を今後も進めていただければありがたいと思います。
道公課補佐	残念なことに、さくら保育園から荒寺線の間を整備するということですが、通学路でもなんでもありません。どういうことかわかりますか。 ご説明が不足して申し訳ございませんでした。おっしゃるとおり、現在はその道路は通学路になっていません。この道路は、通過交通が多く、更に荒寺線で右折ができないので、その手前の生活道路に入っていく、ふれあいセンターの前の通りに出てくる車が非常に多いです。このふれあいセンターの前の通りが通学路

教育次長	になっていますので、学校の先生とも合同点検で協議をしております。その中では、生活道路から出てくる車両と歩道を歩いている児童が接近して危険があるので、通過交通の量を減らせないかということが、まずひとつあります。 それから、一区の保護者からもご意見をいただいております。以前はこの道路は通学路になっていたのですが、通過交通が増えて危険なので、遠回りをするような通学路に変更したという経緯があるということです。この道路が安全になれば、遠回りをしなくて良いようにこちらを通学路にしたいというご意見があります。 そういったことを総合的に検討しまして、車道の幅を狭めてスピードの抑制と、それから幹線道路の大通りを通していただくよう誘導する狙いがありまして、現在は通学路になっていませんが、整備を検討しているものです。 Q 新小学校の工期が1年半くらいだったかと思いますが、これは短いように感じます。手抜き工事などが無いのか非常に懸念しておりますので、ご説明をお願いしたいと思います。 新小学校の工期についてご説明します。新小学校は平屋建てと2階建て、それから体育館という構成です。3階建てになるともう少し工期が必要になるかと思いますが、そういった建物の設計ですので、工期としては十分であると考えています。平成29年の年末頃には建物が完成する予定で、外構工事も含めて平成30年4月の開校には問題なく間に合うという工期を設定して準備をしています。 Q 案の⑦について質問しますが、市街化区域である一区(C)の発展により本郷小学校児童数の増加が期待できると書いておきながらですね、最後に、将来推計では本郷小学校が更に小規模となる見込みと、相反することが書いてあるので、どうゆうことか分からないので説明していただきたいです。 それから確認なんですけど、例えば平成34年度の本郷小学校1年生が34人1学級、2年生35人1学級ということですが、この学年については、1人ないし2人増えれば2学級になるということですのでよろしいですか。そうすると私が疑問に思ったのは、例えば35人で2学級作るとすると18人と17人、1人増えて36人で2学級にすると18人と18人です。わずか1人しか差がないですね。適正規模というのは2学級作ってクラス替えできるようにすることが子供たちに良いと言いたいんだと思いますけれども、18人と17人、18人と18人、これで将来子供たちが成長していく中でなにか差が出るのかと思ひまして、過去にそういうデータがあるのか、そういうことで35人と決めているのですか。 何が言いたいのかというと、こういう通学区域の問題がなければそれで良いと思うんですけど、今回はこういう問題がありますので、学級編成の人数について、杓子定規に区切らなくても柔軟性を持たせても良いのかなと思います。26日にも二丁目の説明会がありましたけど、2丁目からは通学距離が、私のうちから500mです。本郷小学校は1.1km、倍の距離です。人によっては新小学校まで200m、
-------------	--

学 教 課 長 Q	本郷小学校まで 1.5 km あります。6 年間通う学校なので、今日も大雨が降りまし たど、大雨でも、雪の日でも、暑い日でも寒い日でも 6 年間通う学校なので、本 当に子供たちのことを考えるのであれば、そういったことも考えていただきたい と思います。 これが学年 10 人で 5 人 5 人とか、極端に少ないのであれば分かりますけれど も、わずか 1 人や 2 人、しかもですね、実穀小学校が統合すればこの条件はすぐ に満たすと思いますし、ウイングタウンの資料も詰めが甘いと思います。もっと 増えると思います。それから本郷小学校の横に分譲していますよね、あそこも増 えると思います。まだまだ本郷小学校が増える要素があると思いますので、私は 通学区域案の⑦が良いと思います。 一区の方は通学距離が遠いということですが、私が職場の先輩と話をした ときに、その方は行方市の玉造ですが、玉造町は 8 つ小学校があって、全て 1 つ に統合したそうです。遠いところはバス通学にしたそうですので、阿見町も、住 吉の方も遠いのでバス通学を考えても良いと思うんですけど、もう少しいろいろ と可能性を考えて対応しても良いのかなと思いました。 (行方市立玉造小学校 平成 26 年 4 月開校 市町村合併に伴い、旧玉造町の 6 つの小学校を統合) 資料について、本郷小学校の近くは調整区域が多くなっております、本郷小学 校は、本郷区や二区北、二区南といった市街化区域で児童が増えておりますが、 阿見町全体を見れば市街化区域でも児童数が減っている状況です。そういったこ とも踏まえて、また、現在出生している未就学児の状況からも、調整区域が多い 本郷小学校は児童数が減ってしまう推計をしております。 (補足説明：市街化区域である一区(C)は開発などで人口が増えていくことも想 定されますが、現時点で具体的な計画がある訳ではないので、児童数の増加が期 待されるという表現をしています。) 次に 35 人学級のことについて、おっしゃるとおり、1 年生と 2 年生は 36 人に なれば 2 学級の編成となります。学級編成については、国と、茨城県で基準を決 定しておりますので、お気持ちは良く分かりますが、教員の配置などにも関係し ますので、基準のとおり学級を編成することになります。 私の理解不足かもしれませんが、実穀小学校の統合を全て外してありますね。 でも、実穀小学校の 100 人と統合する可能性は高いと理解していますので、何で ①から⑩の案全てを本郷小学校だけで考えているのですか。人数がおかしくなる のかなというか、もしかするとバランスが取れる方向に行くのかなという気がし ます。 それから、一応 5 年間の見通しを書いてありますけれど、10 年 15 年という推 計がでるのであれば、その辺も考えておかないと、10 年、15 年でこんなに変わ っちゃったということがないようにしておかないといけないと思います。 トータルで考えますと、平成 26 年度に阿見町が提案した、大きな道路で分け
-------------------------	---

	るという案がありましたね、案の①です。ある意味妥当性があると思うんです。実穀小の統合も一緒に考えて、子供たちの通学路を見ても非常にバランスが取れてると思うんですよ。真ん中の道路で分けるというのは。ですから、実穀小の統合を考えないと、いろんな意味で間違った判断をしてしまうんじゃないかと思います。 平成 26 年度は、町全体の学校再編を検討していたため、実穀小と本郷小を統合して、分離した後の本郷小に 2 学級を確保するという提案でした。そういった提案をさせていただいたところ、資料 2 でご説明したとおり様々のご意見をいただきました。両校の児童数のバランスがあまりにも偏っていること。実穀小学校との統合を考えなくても、今いる本郷小学校の友達を、新小学校と本郷小学校でバランスよく分けてほしいというご意見を多数いただいております。そういった保護者の方のご意見を踏まえて、今回のご提案をさせていただきました。 それから、将来推計が出来れば一番良いと思いますが、現実的には難しく、そういう推計が正確にできなかったために、今の本郷小のようなご迷惑をおかけしてしまい、反省をしております。 (補足説明：案①の場合、例えば 2 年生まで 178 人だった学年が、3 年生になる時に 150 人と別れて 28 人になってしまいます。その 28 人の気持ちを考えれば、統合で人数が増えれば良いという問題ではないというご意見を尊重し、今回の提案をしております。また、大規模校にも問題があると考えていますが、現時点では、どの案に実穀小が統合しても、本郷小が大規模校にはならない推計です。 なお、10 年、15 年先ということについては、数字上で一定の推計することはできますが、これまでの経過からもお分かりになるかと思いますが、そのとおりに推移するかというと社会情勢などの影響もあり非常に難しい問題です。また、将来のことを考えれば、荒寺線で区切ると、市街化区域の多い新小学校が過大規模校になり、本郷小学校は実穀小学校と統合しても小規模校になってしまう可能性があるとも考えられます。)
Q	町長が、新しい学校にプールは作らないと明言していましたが、新小学校の児童は、本郷小学校のプールを使って授業をするのでしょうか。
学 教 課 長	町では、新小学校にプールを作るという計画は、今のところございません。プールの授業は、バスを借りて、町内 11 校にある既存のプールや阿見中学校にある町民プールを活用して行う予定です。
Q	どういう線を引いても反対をする方はいらっしゃると思います。それであれば、町の再編計画に明示されている実穀小との統合について、前提で議論すべきではないでしょうか。その統合を抜きで通学区域を設定するべきではないと考えますが、いかがでしょうか。 (拍手)

学 教 課 長	先ほどもご説明をしましたが、児童のことを考えれば、まず本郷小学校だけでもバランスのとれた分け方をするべきであるというご意見、より良い教育環境になるのではないかというご意見をたくさんいただいています。将来的には実穀小学校も統合しますし、平成 30 年 4 月に統合できるよう話し合いを続けております。当然、その統合がされても両校が適正規模になるように検討をしております。
Q	先ほど、荒寺線より南側は市街化調整区域であると、人口の増が見込まれないということであれば、実穀小をこのままにしていくと先細りになっていくばかりで、結局将来的には統合する方向であることは間違いないと思うんですけども、それでも実穀小学校が統合しなくても大丈夫という通学区域を設定するのでしょうか。
学 教 課 長	資料 2 のご意見にもありますが、たくさんの友達と別れなければいけない子供たちの気持ちを考えれば、案①ですと約 8 対 2 で分れる訳ですが、そういったことに対して、どのように考えるのかということで、これはいろいろな考え方があると思います。教育委員会としては、実穀小と統合が出来たとしても、本郷小学校をそのような分け方をするのは好ましくないのではないかという考えでおります。実穀小学校の統合を考えていない訳ではありません。統合は進めます。ただし、本郷小の分離は、本郷小の子供たちの気持ちを考えた分け方が良いのではないかと考えています。
Q	実穀小学校が統合したくない理由があると思うんですけど、その理由がはっきりしていれば教えていただきたいと思います。
学 教 課 長	実穀小学校では、P T A や地区の代表の方と検討委員会を設けて話し合いをしております。その中で、地域に積極的に反対している方がいらっしゃいます。そういった方の影響もあって、なかなか統合して良いという機運が出来ていない状況があります。そういった方とも話し合いの場を設けて、再編を進めていくよう協議をしております。
Q	児童の心のケアということは大事だと思いますけど、そこを言うのであれば、二丁目の子供たちは、一丁目の子供たちとよく遊んでいるかと思います。道を挟んだだけの子供たちが分かれることについても、心のケアということが必要かと思います。何を言いたいかというと、どこで分けてもそういう課題がでてくるということです。なので、町が最初に打ち出しているもの、それを皆さん信頼して今後の人生計画をたてるわけですから、それを安易に変えてほしくないと私は思っています。 それから、私の資料には諮問書の写しが入っていませんが、皆さんの資料には入っていますか。

学 教 担 当	申し訳ございません。担当の不幸で諮問書の写しが入っておりませんでした。急ぎご用意します。大変申し訳ございません。
Q	こういう説明会はもうやらないのですか。今回で終わりですか。
学 教 課 長	この通学区域の検討については、各地区の代表のみなさんに委員になっていただいている阿見町立学校再編検討委員会に諮問をしております。その委員さんに各地区のご意見を集約していただきたいとお願いをしております。そこで、委員さんから各地区に今回の状況を説明していただくのは難しいということもあって、今回のような説明会を開催いたしました。そういったことで、次回の検討委員会以降で、まだ町からの説明会が必要であるとお話しがあれば、その都度説明会を開催したいと思います。現時点で、具体的にいつ説明会を開催するということは決まっておりません。
Q	今日来ている人たちは、忙しくても来てくれている人だと思います。それでも、どうしても来れない人がいると思います。説明会が1回、2回で終わりですよというのは、ちょっとあまりにも。 それからもう一つ、町としては、今回の計画を考えた時に、まず行政区を作りましたよね。本郷区を作ってまだ4年くらいですよ。それを分断するというのはどういう考えなのかを、町の考え方をちょっと聞きたいですね。
学 教 課 長	どうしても、日時を決めた説明会では来られない方がいるということは、こちらでも承知しています。ですので、教育委員会にお問い合わせをいただければ、担当が直接ご説明をさせていただきます。こういった会場ではなかなかご意見が言えない方もいらっしゃるかと思いますので、個別にお話しを聞かせていただきます。お知り合いにそういった方がいらっしゃれば、そのようにご案内いただければと思います。 行政区のことについては、言い訳になってしまいますが、当初は人口がそこまで急激に増えることはないと考えていたこともあると思います。教育委員会としても、行政区を分けないで望ましい教育環境が確保できればそれが一番良いのですが、検討をしている中で、やむなくこのような通学区域を提案しているということです。ご迷惑をおかけしていることと思いますが、ご理解をいただきたいと思います。
Q	そういうことであれば、例えば、荒寺線で通学区域を決めて、どうしようもなくなったらまた分校なり考えるということもありえますよね。今回本郷小学校がパンク状態です。そうってから、ここに学校用地があるからここに建てます。ここもまたパンクになったら次という考えでやっているんですかね。今まで阿見町ってそういうやり方なんですよ。

学 教 課 長	行政の見込み、計画が不十分であることは申し訳ありません。将来、状況が変わってくれば、学校再編の計画を見直すこともあるかと思います。確かに、これまで人口や社会情勢の変化により計画が変わってしまうことがあったと思います。そのことについてはお詫びしたいと思います。
Q	だったら、今の状態でパンクしないんだから、それでやって、パンクしたらそうすればそれでも良いんじゃないですか。
学 教 課 長	そういったご意見があったということは、検討委員会に報告をして、総合的に検討をしていただきたいと思います。
Q	教育委員会ではなくて、町の方にも、行政区のことをちゃんと考えてくれたのかお聞きしたいんですけど。行政区を立ち上げてくれたのは町ですからね。今まで一丁目、二丁目、三丁目と仲良くやってきたのを、分断するわけですからね。
公 室 長	教育環境のことを考えて、いろいろな案を作っていく中で、行政区を分けない案もあると思いますが、結果として、そういう案になってしまったということだと思います。
Q	区画整理をする時点で、人口が増えるというのは最初から分かっているわけですね。この間も言ったかもしれないですけど、そういう設定が甘かったというのは、自分たちで思わないんですか。本郷小学校がパンクしてプレハブを作って、子供たちは大変な思いをして通っていますよね。そういう状況になるというのは分かっていたと思うんです。後手後手にそうやって、パンクだからこうしますと、今まで町って後手後手にやり過ぎだと思います。 それから、通学路について、カスミの裏は今年度難しいと言っていましたよね。この間も、あそこは事故があつて危ないと言いましたが、そこは今年度間に合わないのですか。
公 室 長	まず、計画について、確かに区画整理とか民間開発をする場合には、基準がありまして、人口とか戸数とか、面積などによって公共施設を造りなさいと国土交通省である程度基準が決まっています。各都道府県、市町村がそれを多少アレンジをして計画をします。ご説明をしましたように、平成の始め頃にそういった計画がありましたので、荒川本郷地区のURの計画と含めて230haの計画を立てて、オルティエ本郷地内には学校用地を先行買収して、荒川本郷地区にはURの先行買収で学校用地を確保するという計画がありましたが、オルティエ本郷が実現して、URの計画は中止になったという経緯がございます。 学校を建てるには、今の本郷小学校のキャパをオーバーしないと文科省の補助対象にならないということがありまして、その状況を見ていたと思います。その

道公課補佐	想定を上回る急増があり、間に合わないという関係でプレハブの仮設校舎という状況になっています。 道路のお話しですが、担当からご説明をしましたが、荒寺線より北側は今年度の予算がついているということですが、地域の方と相談した中で、臨機応変に対応できれば、一番危険なところから実施することも可能かと思いますので、担当から説明をさせます。 カスミの裏側も、さくら保育園のところと一体的にやりたいという考えは当然あります。予算の都合の他にも、下水道とかガスの工事をあちらこちらでやっているの、舗装の復旧工事との関連もございまして、安全対策をしてからそういった工事があると、舗装の手直しなどがあるということが一つございます。なるべく、そういったことを調整しまして、早期に出来ればということで検討しておりますので、ご理解をいただければと思います。
Q	(質疑応答の間に資料『諮問書(写)』を配付) 諮問書の写しが届きましたので、改めてご質問します。ここに再編計画のことが書かれていて、都市計画道路荒寺線で区分することを基本とし、地域との合意形成を図るように進めていきます、とあって、これを原則としてHPにも書いてあったと思います。町としては、どういう形になったら地域との合意形成が図られたと考えますか。
学 教 課 長	これは、再編計画を策定した当時、提案していた案は決定ではないとご説明をしていましたので、これを基本に地域と話し合いをしながら最終的な決定をしていくというものです。ですから、地域からいただいたご意見を基に今回の10案を作成しました。このことについても、ご意見をいただいて、検討委員会の場で検討をしていただきます。そこからいただいた答申を基に、町として最終的な結論を出したいと考えております。
Q	合意形成は、どういう段階で地域と出来たと考えますか。先ほど、実穀小学校の統合が進んでいないのは一部反対があつてというお話しでしたが、反対の方がいれば合意が図られていないと判断するのですか。
学 教 課 長	それは非常に難しいことだと思います。どういうことでも反対をする方はいらっしゃるのかと思います。反対がどれだけだからとか、具体的な線引きをすることは考えていません。お話し合いの中で、ある程度理解されたという見極めができれば、合意と判断して進めたいと思います。
Q	実穀小学校の反対は一部だけなんですか。

Q	私は実穀小の保護者です。私を含めて数名で、これから実穀小の存続を求める署名活動に突入します。私たちは、決して反対意見で盛り上がっているわけではありません。地域の住民の合意のもとで統合するのであれば、望ましいことでもあります。しかし、地域住民がまだ納得していない状況なので、統合されて良い結果があるはずがないと信じております。よって、本当に実穀小が、本郷小と統合しても良いのか地域住民に徹底して聞いて回る予定です。これから一生懸命署名活動に入る実穀小学校の存続を願う会というのを立ち上げておりますので。それでやります。それで、いや実穀小学校は子供が少ないから、本郷小に統合すべきという考えが多ければ、それに従うのが当たり前だと思っています。よって、一部の偏見とかで実穀小が反対している訳ではありません。その辺のところをご理解いただいて、子供たちのために、私の子供も通っています。そこを皆さんご理解いただいて、間違えない方向をお願いいたします。
Q	私は、別に実穀小があれだという意味ではなくて。地域との合意形成を、説明会を開いただけで合意形成が図られたと思わないでいただきたいということです。
学 教 課 長	おっしゃるとおり、説明会を開いて一方的に話して合意形成が図られたとは考えておりません。こういった中でいただいた様々なご意見を踏まえて検討をしてまいりたいと考えています。
Q	7月26日に、二丁目を対象に説明会を開いていただきましたけど、その後、8月5日に二丁目の住民だけでふれあいセンターに集まりました。急なお知らせだったんですけど、約60名参加していただきまして、意見を聞いてアンケートをとっております。今、実穀小の方から署名という話がありましたが、二丁目は既に署名終わりました。これを教育長さん、町長さん、まあ、言ってしまえば反対です。本郷小に行くという案には反対の署名を、まあ、今日全部は集まってないんですけど、半分以上集まっています。第2回の住民だけの集まりを、計画しておりますので、そこに町の方、ぜひ参加していただきたいんですけど、どうでしょうか。意見を聞いてくれるということだったので、参加してほしいんですけど。
学 教 課 長	はい。
Q	誰あてに日時等お知らせすればよろしいでしょうか。
学 教 課 長	教育長あてにいただければ。
Q	では、終わった後に行かせていただきます。
学 教 課 長	それでは、申し訳ございませんが、時間の都合で本日は次の方を最後にさせて

Q 学 教 課 長	いただきます。 私は、本郷小学校、朝日中学校の卒業生です。小学校時代は、テニスコートからの道は子供心ながら危ないと思うことが多々ありました。それから 10 年弱たっておりますので、町や教育委員会で改善してくださったこともたくさんあると思いますが、まだまだ改善されていないところも多々あると思います。やっぱり小学生にもなるとお子さんも自分の意見をきちんと持っていますし、何といってもお子さんの気持ちを一番に考えていただきたいなと思います。 私も阿見町出身で育って、阿見町が大好きなので将来も阿見町で自分の子供を育てたいと思っています。そうしますと、やっぱり自分の住んでいる家からも新小学校が完成すれば見えると思います。本郷小学校は何倍の距離があります。親とすれば新小学校に通わせたいと思うのが普通の気持ちだと思います。そこら辺を、もう一度ではなく、何度も何度も考えていただいて、お子さんの気持ちを第一に考えていただいて、話を進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。 (拍手) 貴重なご意見をありがとうございました。それでは、まだご意見がある方いらっしゃるかと思います。時間の都合で申し訳ありません。お手数ですが、直接教育委員会にお問い合わせください。それでは、本日の説明会を閉会させていただきます。ありがとうございました。
-------------------------	---